

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 下部直腸肛門管の微細リンパ構造から考察する直腸癌の治療戦略

研究の目的

進行直腸癌は骨盤内の微細脈管を介した腫瘍進展を制御する目的で術前治療が主流となっています。しかし、下部直腸の微細な脈管については未だ情報が少ないのが、現状です。また、術前治療の進歩によって直腸癌の局所再発は減少傾向にありますが、その後 30%程度は肺または肝臓に遠隔転移をおこし、切除範囲をこえた脈管転移ルートがあると考えられます。本研究の目的は解剖学的解析から転移ルートとなるリンパ管ネットワークを明らかにすることである。

研究実施期間： 倫理委員会承認日～2025年3月31日

対象となる方： 2016年1月から2023年6月の期間内に弘前大学医学部附属病院消化器外科において直腸癌手術を受けられた方。

利用させていただきたい試料・情報について

(他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む)

解剖体から得られた直腸および周辺臓器で免疫組織化学染色を行い、血管・リンパ管を顕微鏡で観察し、リンパ管ネットワークの解析を行います。また、当院のカルテに記録されている情報のうち、本研究では術前治療(術前化学療法または(化学)放射線療法)を受けた直腸癌手術症例を、腫瘍最深部によって解剖学的部位(前壁、側壁、後壁)で層別化し、採血データや臨床病理学的因子、生存期間、再発率を評価し、予後不良な解剖学的部位を明らかにしたいと考えております。

なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん/その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先

弘前大学大学院医学研究科 消化器外科学講座 大学院生 桑田大輔
連絡先 電話番号: 0172-39-5079 E-mail: d.kuwata@hirosaki-u.ac.jp